

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和6年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	52-2111	代表者	日向市長 西村 賢
名称等	名称	株式会社 日向サンパーク		所在地	日向市大字幸脇303番地5		
	設立年月日	平成14年1月8日		電話番号	TEL : 0982-56-3800 FAX : 0982-56-3805	ホームページアドレス	https://hyuga-sunpark.com/
資本金	50,000千円	設置目的	市民の憩いの場及び健康増進施設	事業(業務)内容	道の駅・オートキャンプ場・体育施設の経営・管理・運営		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額 (千円)R5年度	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の 平均年齢	職員給与総額 (千円)R5年度
	総数	うち市出向者・退職者数		総数	うち市出向者・退職者数		
	7	0	0	3	0	57	35,555
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)						
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		R3	R4	R5			
	① 運営補助金	6,694	4,614	3,114	道の駅日向の管理委託料		
	② 指定管理料	11,735	11,111	11,111	オートキャンプ場及び体育施設に係る管理料		
	③ 貸付金	0	0				
	④ その他(損失補償金)	0	0				
	合計	18,429	15,725	14,225			
	・短期貸付金残高						
	・長期貸付金残高	46,839	40,984	35,129			
合計	46,839	40,984	35,129				
(2)人的支援(人的関与)	出資割合(92%)から市長が代表取締役社長に就任している。副市長が取締役に就任している。						
(3)その他の取組 (その他の課題)	・指導・監督の強化	第三セクターに関する指針策定					
	・情報の公開	日向サンパーク 改革プランに基づく点検・評価結果の公表					
経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果		点検・評価		
経営形態見直し策	施設別経営状況の明確化による経営改善対策。施設別に決算書を作成、施設別の収支を明確にする。		現在、年度毎、月毎に施設別に決算書を作成しています。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 現在、月次決算は実施されていますが、年次・月次・施設別決算書作成による「施設別経営状況の明確化」の取組について、その分析と評価を行い、結果をどのように経営改善に活かしたのかを明確にしていきたいと思えます。 特に、アフターコロナの社会環境が急速に変化する中で、迅速な対応が必要となるため、施設ごとに正確な分析を行い、コストやPDCAサイクルを意識した事業推進に取り組んでください。		
経営体制強化策	会社の経営状況を社内で共有することにより、経営参画意識の向上に努める。		各施設の社員に対して朝礼やミーティング、業務日報などで経営状況等の情報を共有化し経営参画意識の向上に努めました。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 情報共有の意味では一定の成果が見られるものの、どのようなプラス効果が生じたのか(又はあったのか)不明瞭です。 経営改善につなげるには、ミーティング等から新たな考え方や知見が生まれることが重要となるため、具体的にどのような情報を共有し、それによってどのような効果が見られるかといった視点で評価してください。		
収入増加確保対策	詳細な事業計画・収支計画を検討した上で、団体客の誘致や、企業の福利厚生施設としての利用、各種イベントの実施等で費用対効果の高い集客増を図り、収益増加・確保に繋げる。		道の駅出荷者協議会と連携し、10月、1月、3月と年3回イベントを実施し集客力の向上に務めました。イベント費用については出荷者協議会の会費や外部団体からの協賛金で賄い会社からの支出を抑えています。また、5月から12月にかけて日向市地場産品消費喚起事業として宅急便送料無料キャンペーンに参加し売上げ収益向上を図りました。更に年間を通して県の全国旅行支援の対象施設(キャンプ場)クーポン券利用施設(物産館)に登録し集客収益増加を図りました。また、キャンプ場におきましては、企業や団体の福利厚生として年間を通じて利用していただきました。コインシャワーやランドリーを24時間利用可能にし収益向上を図りました。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 地場産品消費喚起事業や全国旅行支援は一時的な経済対策であり、これらの支援が無い中でも持続可能な仕組みを検討していくことが重要な課題となります。 様々な取組を行っている点は評価できる一方で、キャンペーン等の実施が直接的な業績に繋がっていない状況も見られるため、他の道の駅と差別化できるポイントを考える必要があります。 大型遊具の主な利用者である家族層をターゲットとした食料品販売など、日常的に収益を上げる仕組みづくりや、キャンプ場利用者を含めた日向サンパーク全体で特別感を感じられるような施策の検討をお願いします。		

オリジナル商品・メニュー等の開発	(株)日向サンパークオリジナル商品やメニュー、企画の開発研究と販売に努める。	道の駅出荷者協議会の会員や納入業者と協力して季節ごとに新たな商品を出品して頂けるように開発販売に努めました。特に、日向特産へべすや宮崎牛、完熟マンゴー、日向夏を使用したお菓子やジュース、餃子、ドレッシング、調味料などの加工食品の販売に力を入れました。地獲れの鮮魚、細島岩ガキ、伊勢海老などは他の道の駅にはない強みで集客に効果があると思われま。宮崎県の道の駅駅長会で開発した新商品も毎年好評を得ています。道の駅とキャンプ場のバーベキューセットは毎年内容をリニューアルし、お客様に人気です。その他、キャンプ場でのキャンプに特化した商品販売品目を見直しオリジナリティを出しています。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 県外の道の駅が観光要素を強化している中で、日用の農水産物の販売に注力していくことは、時代の流れに逆行していると考えられます。 キャンプに特化した商品販売品目の見直し以外は前年と同様の取組となっておりますが、利用者のニーズを把握し、日向サンパークおよび道の駅日向として特別感のある収益性の高い新商品の販売を行っていくためにも、課題や成果について具体的かつ明確にしていきたいと思います。 昨年度と記載内容が同じであり、結果的にそのような取組であったという面もあるかと思いますが、振り返りの徹底をお願いします。
情報発信	ホームページの更新、リーフレットのリニューアル	昨年度、市の補助金を利用しホームページを新たにリニューアルしました。パンフレットは印刷会社、デザイナー選定し作成依頼中です。 その他、新商品、季節商品が入荷した度にSNSを活用した情報発信も行っています。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった パンフレットについては前年度からの進捗がわからない状況です。 また、ホームページの大幅な改修は評価できませんが、集客効果との連動性が明確になれば更に良い戦略がとれるかと思しますので、効果検証を行ってください。 情報戦略は集客に欠かせない要素であるため、情報の更新と発信に努め、常に新しい情報を発信し続けてください。
利用者アンケートの実施	アンケート調査により利用者のニーズや施設や経営に対する改善点を抽出する。	道の駅日向とオートキャンプ場にアンケート調査用紙を設置して、年代や来られた地域、ご意見ご要望などをお聞きし、業務や施設の改善、サービス向上に努めています。回収したアンケート用紙は施設別に綴りスタッフに回覧し情報を共有しています。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 利用者アンケートは、その結果を基にどのような改善を行うかが重要となります。 現在のアンケートは来場者のみを対象としているため、観光に資する意見をより多く集めることができるよう改善するとともに、手法(紙媒体に加えQRコードを用いたスマホでの入力・回答が可能な仕組みなど)についても検討してください。 また、アンケート結果について、市との情報共有や必要に応じて対応策の協議・検討を行うことが重要となりますので、次年度以降はその部分についても振り返りを行い、検証結果についても明らかにしてください。
社員の資質向上	各社員の能力を向上させることにより、営業経費の低コスト化、短時間での対応、高品質なサービスの提供を目指す。	キャンプ場、物産館でどちらでも出来る社員を育成し業務の効率化を図りました。また、各施設のスタッフ間での業務の共有化を図る事により対応のスピード及び質の向上を提供できるようになりました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 社員の資質向上に向けた取組は効果が出ていると評価できます。 一方で、職員が担当する業務の幅を広げた際には、適切な業務量が維持されているか、業務負担が過大になってサービス水準が低下していないかについても注意が必要です。 サービスの質の向上が図れたかについても検証するとともに、より明確な評価・検証のためにも情報の共有化による効果についても記載をお願いします。 また、十分な人員の確保が難しい状況の中で、接客や情報発信に関する職員の定期的な研修が重要でも重要となります。 宮崎県北部広域行政事務組合等が主催する情報発信事業への参加等についても検討してください。
契約の見直し	業務委託や物品購入については、業務内容や契約内容の見直しを随時行い、入札制度を用いる等、経費の削減に努める。	樹木管理や廃棄物処理、道の駅のトイレ清掃などの業務委託契約は契約内容を見直し年度毎に更新行っています。しかしながら人件費の上昇、物価高騰により契約金額も上昇しております。令和5年度より自動販売機の契約を日向市から日向サンパークに変更し、230万円程の手数料収入を得ました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 契約の見直しに関する取組は一定の効果が出ていると考えられます。 適切なコスト管理が行われているかと思われますが、物価高騰など厳しい状況の中で、効率的な管理を検証しながら経費の削減に努めることが重要です。 今後も、業務委託や物品購入における見直しを継続し、より効果的な方法を探っていただきたいと思います。
物件費の節減	省エネ対策(節電)・水道使用料(節水)を実践し、経費の軽減を図るほか、全ての経費について節約に努める。	施設内の使用していない冷凍冷蔵庫や照明などをこまめに切る事により節電対策に努めました。給湯機の設定温度を以前より下げることでガスの使用量削減に務めました。商品を照らす照明につきましてもLEDを使用し節電に努めました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 節電対策やガス使用量の削減の努力や、物件費の節減に向けた取組は評価できます。 施設の維持管理業務は厳しい状況にあるため、効率的な管理を検証しつつ経費の削減に更に努めることが求められています。 引き続き、節約に向けた取組を強化していただきたいと思います。

	<p>人件費の抑制</p>	<p>各部署の職員体制並びに勤務体制等を検討し、効率的な人員配置と経費抑制に努める。</p>	<p>物産館では出勤時間を細かく調整したり、短時間のアルバイト社員を雇用する事によって繁忙時間に効率よく人員配置を行うことができました。体育施設では、経理担当が受付業務を兼ねる事によりキャンプ場職員の負担軽減を図り、移動による経費抑制に努めました。また、テニスコートのナイター利用を予約制にし予約が入っていない日は早く出勤出来る様になったことや、1日の勤務時間を7時間→8時間、8時間→7時間など見直す事で効率よくシフトを回すことができるようになりました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 人件費の抑制に向けた取組、効率的な人員配置や勤務体制の見直しにより、限られた人員の中で工夫をしながら経営に努めている姿勢が評価できます。 引き続き、職員の業務効率化や働き方改革の取組を進めていただくとともに、利用者へのサービス充実も考慮した人員配置をお願いします。 限られた経営資源をどこに集中させるべきかについて再検討し、自動化や不要化についても検討を進めていただきたいと思います。</p>
<p>市による財政的なリスク対処のための具体的な取組</p>	<p>アンケートの実施</p>	<p>サンパークの改善事項を把握し、信頼される会社経営に向けて取り組む。</p>	<p>日向サンパークのアンケート結果を元に利用者ニーズを把握することで施設改善に努めました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった アンケート結果を基にした具体的な取組を明確に示す必要があります。 利用者ニーズが具体的にどのようなものであり、それに基づいて施設改善にどのように取り組んだのかを記載してください。 また、アフターコロナの観光需要に応じて、施設の利用者の意見だけでなく、他の市観光施設や観光関連産業に対する意見についても、市外からも広く集約することも重要となるため、紙媒体以外のアンケート手法を取り入れ、より多くの意見を集める工夫を行ってください。 これらを踏まえた上で、優先度や緊急度の判断、法人と市との役割分担、中長期的な経営改善策への反映などに活用してください。昨年度同様の指摘であるため改善していただきたいと思います。</p>
	<p>効率的な経営環境の整備</p>	<p>利用者ニーズや経営体制等を考慮しながら、効率的・効果的な営業形態がとりやすい環境を整備するため、条例等の改正や各種計画への位置づけを行う。</p>	<p>日向サンパークオートキャンプ場のコテージ外壁の塗装工事、ログハウスイウッドデッキの改修等を行い、利用者の満足度の向上を図りました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設の整備や修繕が利用者満足度の向上につながることは理解できますが、本項目は使用料、営業時間、利用条件等の見直しにより、収益性や稼働率向上につながるための取組項目として設定されているものとなります。 観光客の増加や収益の拡大につなげるためには、利用者ニーズの把握を十分に行い、効果的な施設運営を研究することが重要となりますので、物価高騰を踏まえたキャンプ場やテニスコートの使用料の見直し等について、経営環境の整備や指定管理者への支援策を協議・検討し、その結果を具体的に記載してください。</p>
	<p>修繕計画</p>	<p>施設の修繕計画を策定するとともに、予算の確保に努め、定期的に点検しながら計画に沿った更新に取り組む。</p>	<p>老朽化したフェンスの撤去、エアコンやコインタイマー、手洗い等の修繕を行いました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 利用者の安全・安心を確保し、リピーターが訪れる施設環境を計画的に構築するため、定期的な点検と修繕計画に基づいた対応を継続し、安心して快適な施設を維持することが求められています。 修繕計画に基づいた対応について、修繕方法の研究を行うとともに、今後、補修が必要となるもののリスト化等により計画的に実施してください。</p>
	<p>適正な契約</p>	<p>指定管理者制度による協定と業務委託契約を精査し、適正な契約内容と経費を確立し、管理責任の明確化を図る。</p>	<p>指定管理期間が終了したため、新たな公募にあたり人件費の上昇等を考慮し、指定管理料を見直しました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 適正な契約に関する取組については、今後も対応が必要です。 他の自治体施設や道の駅と比較し、情報収集を行いながら、市の観光戦略に基づき、持続可能で適格な判断のもとで業務委託契約を行ってください。</p>

<p>財務状況</p>	<p>貸借対照表</p>	<p>項目</p>	<p>金額(千円)</p>			<p>損益計算書・正味財産増減計算書</p>	<p>項目</p>	<p>金額(千円)</p>		
		<p>資産合計</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>		<p>経常収益</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>
		<p>負債合計</p>	<p>29,037</p>	<p>33,062</p>	<p>35,869</p>		<p>うち市からの補助金・委託料</p>	<p>171,254</p>	<p>209,123</p>	<p>123,337</p>
		<p>資本合計</p>	<p>73,281</p>	<p>69,029</p>	<p>63,660</p>		<p>経常費用</p>	<p>18,848</p>	<p>14,225</p>	<p>14,225</p>
		<p>累積欠損金</p>	<p>△ 44,244</p>	<p>△ 35,996</p>	<p>△ 27,791</p>		<p>経常利益(損失)</p>	<p>175,137</p>	<p>203,463</p>	<p>116,063</p>
		<p></p>	<p>△ 94,244</p>	<p>△ 85,966</p>	<p>△ 77,791</p>		<p>当期利益(損失)</p>	<p>1,501</p>	<p>8,486</p>	<p>8,384</p>
		<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>		<p></p>	<p>1,292</p>	<p>8,278</p>	<p>8,175</p>

		成果指標(数値目標)	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標		
指標関係	財務指標	流動比率(%)	150.62	96.08	108.43	100以上	119.95	100以上		
		損失補償	0	0	0	0	0	0		
		短期貸付金	25,000	0	0	0	0	0		
		経常利益	26,176	1,501	8,486	15,589	8,384	11,201		
	活動指標	利用者数(人)	161,885	134,901	155,630	232,000	158,957	176,229		
		温泉館客単価(円/人)	-	-	-	-	-	-		
		物産館売上額(千円)	162,778	154,727	186,865	216,300	198,630	211,170		
	オートキャンプ場稼働率(%)	コテージ	13.8	12.4	21.4	34.0	26.5	29.2		
		ログハウス	10.2	9.8	20.1	20.5	21.0	23.4		
		テントサイト	8.6	6.0	9.5	8.5	10.0	9.9		
財務・活動・成果指標取組結果		<p>利用者は令和4年度と比べ3,327人増加しました。道の駅日向物産館が4,117人の増、オートキャンプ場が306人の増となりましたが目標数を73,043人下回りました。増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され約一年間県内外のお客様に利用していただいた事や日向市地場産品消費喚起事業の送料無料キャンペーンを行ったこと、定期的にイベントを行ったこと、キャンプ場のネット予約を導入した事などがあげられます。</p> <p>財務状況としては売上高で224,686千円、前年比15,563千円の増となっています。営業利益につきましては、7,275千円となり、前年度比1,614千円の増となりました。当期純利益につきましては8,175千円、前年比103千円の減となりました。</p>								
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>道の駅は観光施設であるという意識を持つことが極めて重要と考えます。農産品直売所としての役割は理解できるものの、他の道の駅が差別化を図り、質の向上を目指す中で、このような方向性では観光利用が減少するリスクが懸念されるため、観光施設としての役割を再認識していただきたいと思えます。</p> <p>令和5年度までの国県による経済対策や物価高騰対策が終了する中、利用者数がコロナ禍前に戻らない現状が続き、併せて物価高騰などの要因からも収益回復が難しい状況であると推測されますが、これら一時的な施策が無くなった後において、いかに収益を確保するのかが問われますので、生産性を上げる取組と並行して、様々な状況を見極めながら販売単価や利用料への価格転嫁についても検討を進めていただきたいと思います。</p> <p>今後も、観光に対する価値観の変化、インバウンドへの対応、社員の維持・確保など、難しい運営が予想されます。細分化する観光ニーズに対応していくためには、デジタルを活用したアンケート(QRコードなど)の導入等による調査・分析により利用者のニーズを常に把握しながら、新商品の開発等を行っていくことも重要です。</p> <p>持続可能な経営を実現するため、経営資源の最適化や新たなサービスの導入と情報発信、地域との連携強化などを通じて、引き続き、経営改善に向けた取組を進めていくことを期待します。なお、市・法人ともに、経営課題に対する取組内容が固定化しており、当経営検討委員会の点検評価結果の反映や改善の取組が不十分な状況が見受けられます。現時点では黒字が確保できているものの、将来的には厳しい経営状況となることも予想されますので、収支、人員、施設設備等に関する財政的なリスクの視点のみならず、道の駅、体育施設、キャンプ場の全ての施設を含めた市民・利用者の満足度向上に重点をおいたアンケートの実施・検証やサービスの改善等に取り組むとともに、市においては、市の施策の中での日向サンパーク施設の目指すべき方向性、第三セクターの設立趣旨・事業目的を踏まえた指定管理等の管理運営の手法のあり方に関する検討を行い、法人と連携の上、今後の市・法人の具体的な取組に反映させてください。</p>									
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	B	⇒	A	経営努力を行いつつ事業は継続					
		⇒	B	事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要						
		⇒	C	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要						
		⇒	D	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要						
第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見	今後の方向性	イ	⇒	ア	経営努力を行いつつ現状のまま存続					
			⇒	イ	事業内容等の見直しを行った上で存続					
			⇒	ウ	再建を行いつつ存続					
			⇒	エ	廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡					
	⇒		オ	その他()						
市	今後の取組について	<p>キャンプ場等の利用料金の設定については、近年の社会情勢や市民ニーズ、近隣市町村の類似施設の状況等を調査し、見直し等を検討します。また、会社の経営改善に関して、定期的な会議を開催し、経営戦略の確認や業績のモニタリングを実施します。</p> <p>さらに、来場者のアンケートに加え、来場者以外からも幅広く情報を収集するため、SNS等を活用したアンケート調査を実施します。その結果を基に市と施設管理者の整備範囲を協議し、テナントスペース、看板、遊具等の有効な施設整備等に取り組むことで収益力・集客力を向上させます。</p> <p>引き続き、効率的な運営体制の構築に向けて指定管理者と連携し、今後、市として観光拠点としての役割を強化し、地域経済の活性化に貢献する持続可能な運営を目指します。</p> <p>令和6年度は、コテージ外壁塗装、キャンプ場コインシャワー改修等、施設の修繕を行いました。今後も、修繕・改修、更新等が必要な施設、設備、備品をリスト化し、計画的な整備に取り組んでいきます。</p>								
日向サンパーク株式会社	今後の取組について	<p>道の駅においては、今後若者やファミリー層をターゲットとした新たな商品を販売するテナントを物産館内に導入する予定で、現在、販売商品や売場のレイアウト、ディスプレイ、テナント料などについて打ち合わせを進めています。これにより、現在の物産館にはない新たな集客の起爆剤となることを期待しています。</p> <p>現在作成中のパンフレットは、完成次第、日向市内の施設や他の道の駅、ホームページ、SNS等で情報を発信していきます。</p> <p>また、利用者の利便性を高めるために、サンパーク内各施設(道の駅、体育施設、キャンプ場)に新たにキャッシュレス決済機器を導入していきたいと考えています。さらに、各施設及びホームページ、SNS、パンフレット、予約サイトにデジタルアンケートシステムを設置し、利用者や市内内外の意見を取り入れて施設の改善・運営に反映させていく予定です。これらの取組により、サービス品質の向上と利用者満足度の向上を図り、安定した集客と収益の確保を目指します。</p> <p>指定管理施設の利用料については、安定した会社経営に努めるため、現在の社会状況に見合った利用料金の引き上げ等について市と協議を進めていきます。道の駅では、光熱費や仕入原価の高騰、人件費の上昇が経営に影響を及ぼしているため、適正な価格転嫁を随時行うとともに、人員配置の見直しや電気・ガス・水道の節約にもさらに取り組み、コストの最適化を図り、財務の安定性を高めます。また、業務の見直しについては、トイレ清掃などの業務に専門業者ではなく地元の方を採用することで、地域協力や経費節減を図ります。さらに、キャンプ場やドッグランの看板や犬用遊具を設置し、利用者がより利用しやすくなる施設作りを目指していきます。</p> <p>以上のような経営健全化計画に基づく取組を着実に実行し、改革プランで設定した経常利益(目標値)の達成に向けて収支の改善に努めていきます。</p>								
その他特記事項										